

ロジスティクスIT & 企業イノベーション

21世紀の物流課題

株式会社ロジスティクス・パートナー
代表取締役 松見浩希

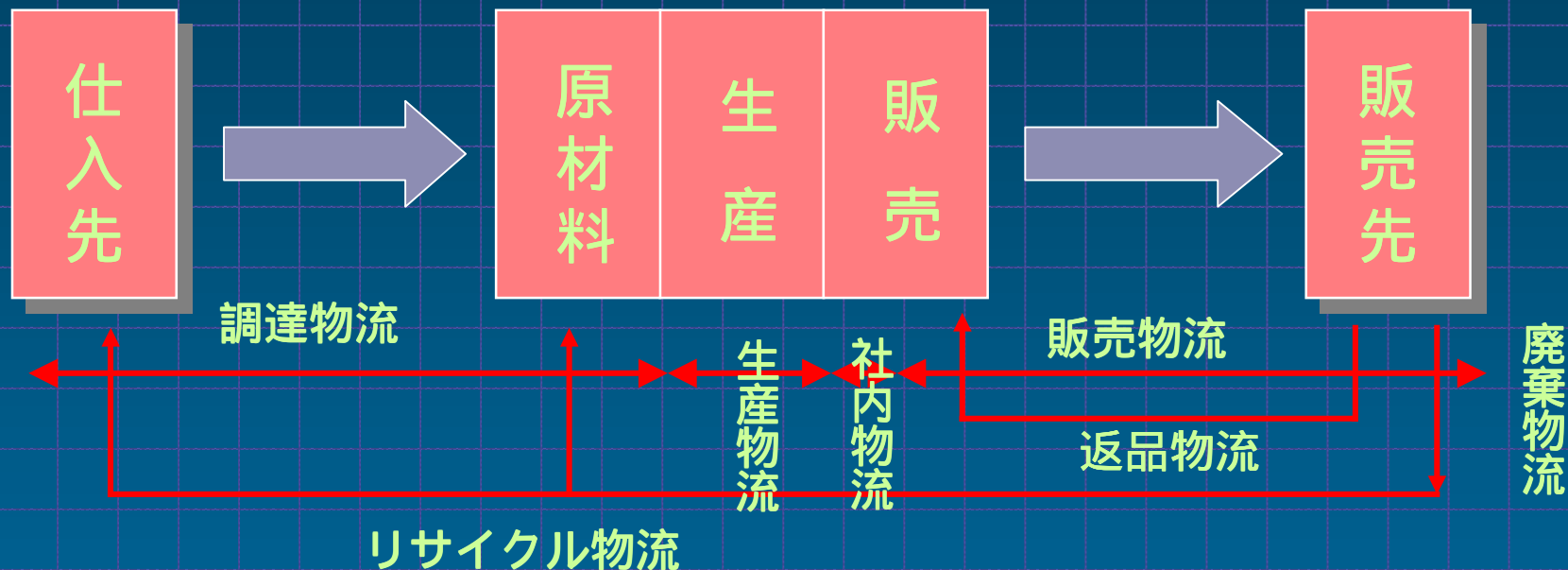
はじめに

- ◆ ロジスティクスにおける情報技術の動向と可能性
- ◆ 企業イノベーションにおける物流への取り組み

* ロジスティクス・パートナー

＝物流分野における企業・商品・人材の最適な
コーディネートを目指しています。

ロジスティクス概念



「実践物流コスト計算」より 成山堂書店刊

一部追加修正

ロジスティクスの経緯

- ◇製品が必要なときに必要なだけ必要なところに供給できる物流体系の構築
- ◇最小限の在庫で、最小のコスト、最短のリードタイムで
- ◇物流情報のリアルな管理
- ◇商品をグローバルなレベルで最適な製品在庫と輸送ネットワークの構築

SCM

- ◆ロジスティクスをさらに最適化を狙うためにSCMの概念によって、需要予測、生産計画といった範囲も含めた最適な物流構築が必要になった

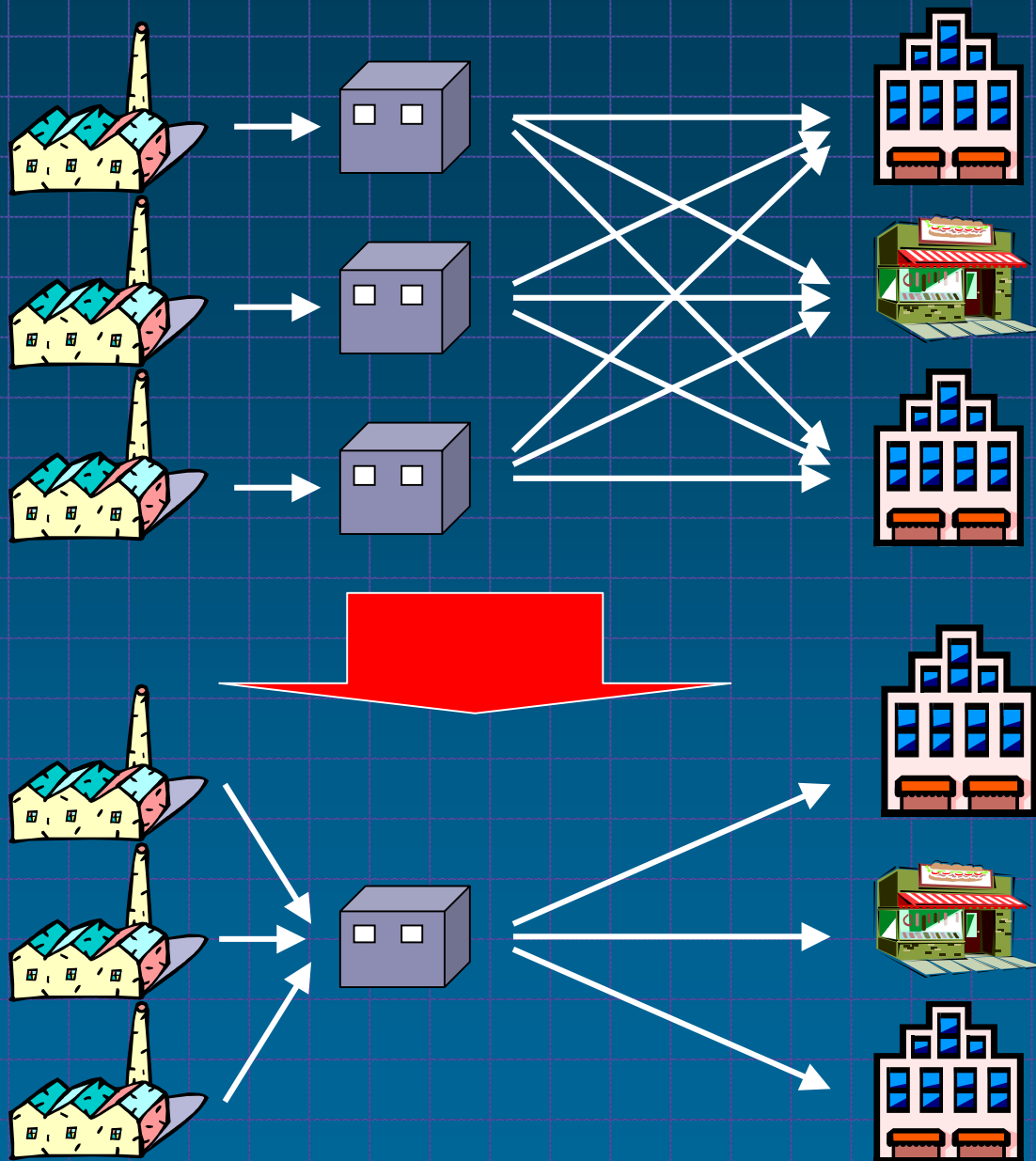
企業イノベーション

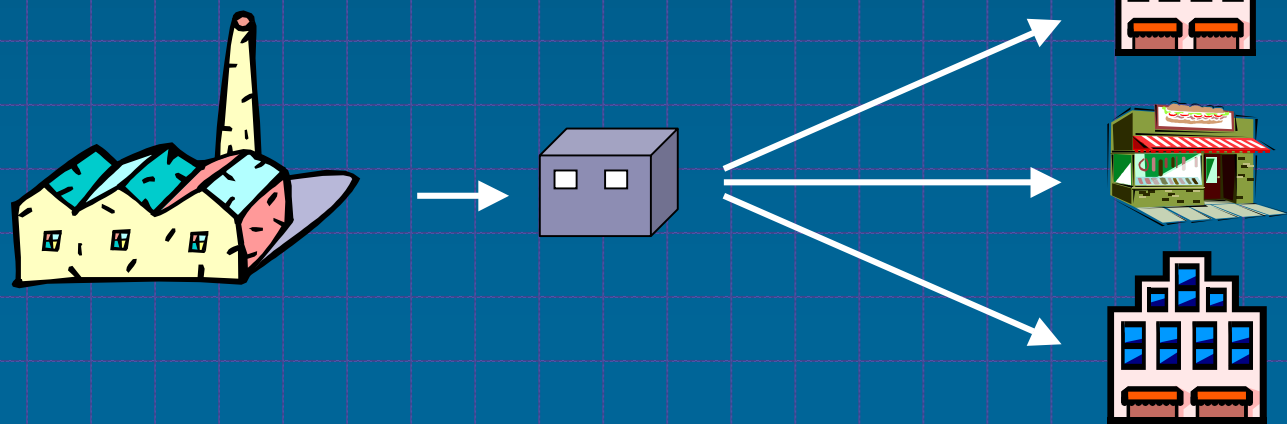
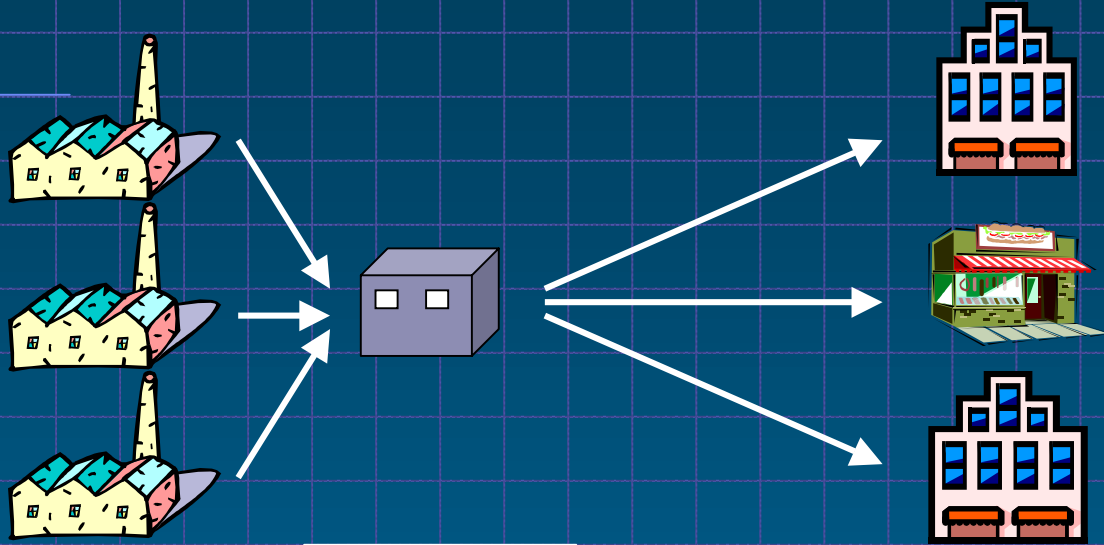
- ◆ 従来の横並び、系列の崩壊
- ◆ 大規模な合併
- ◆ 思い切ったアウトソーシング
- ◆ ドラマスティックでグローバルな企業戦略
- ◆ スピード経営

ロジスティクスの課題

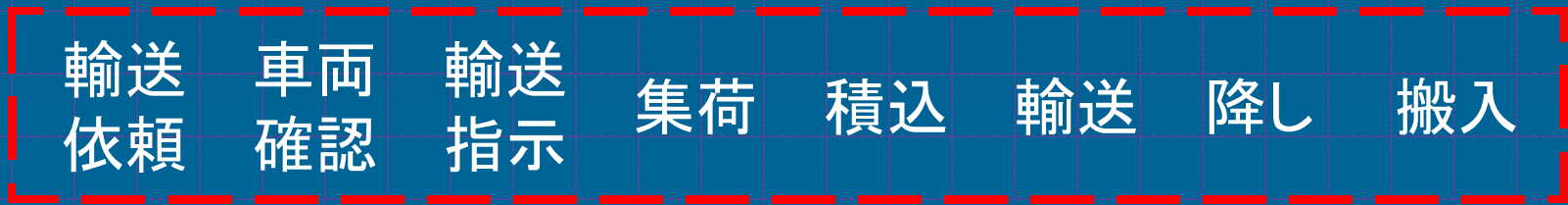
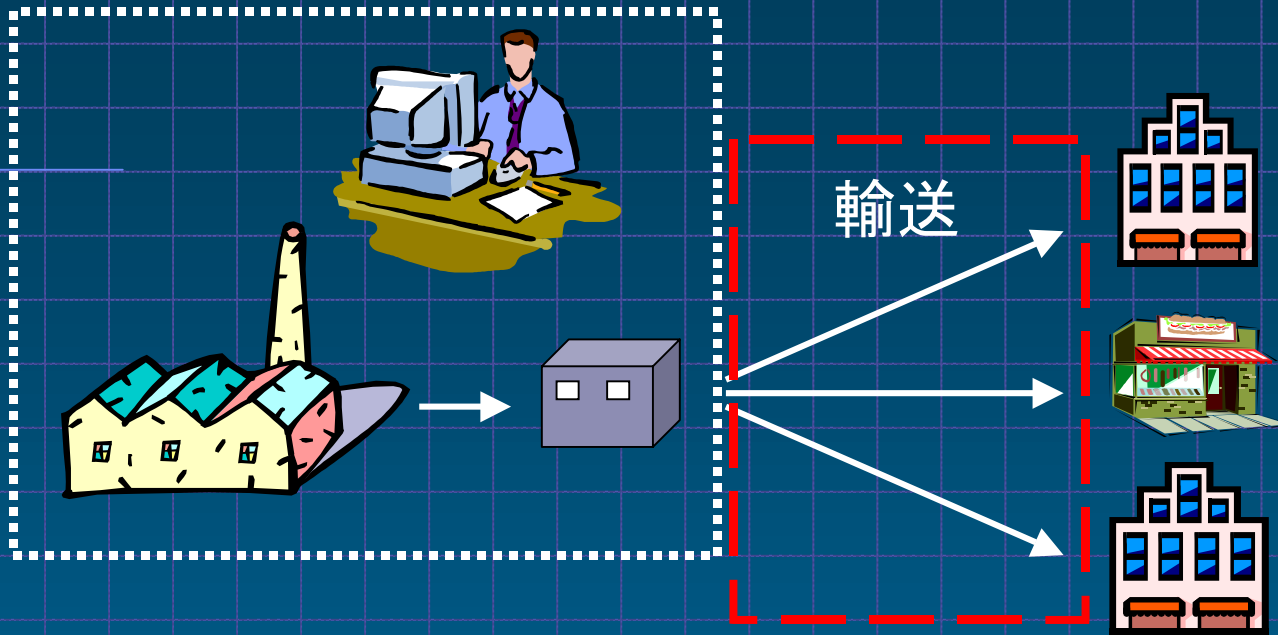
- ◆ 共同化
- ◆ 情報化
- ◆ 多段階的商取引
- ◆ 標準化
- ◆ コスト

共同化

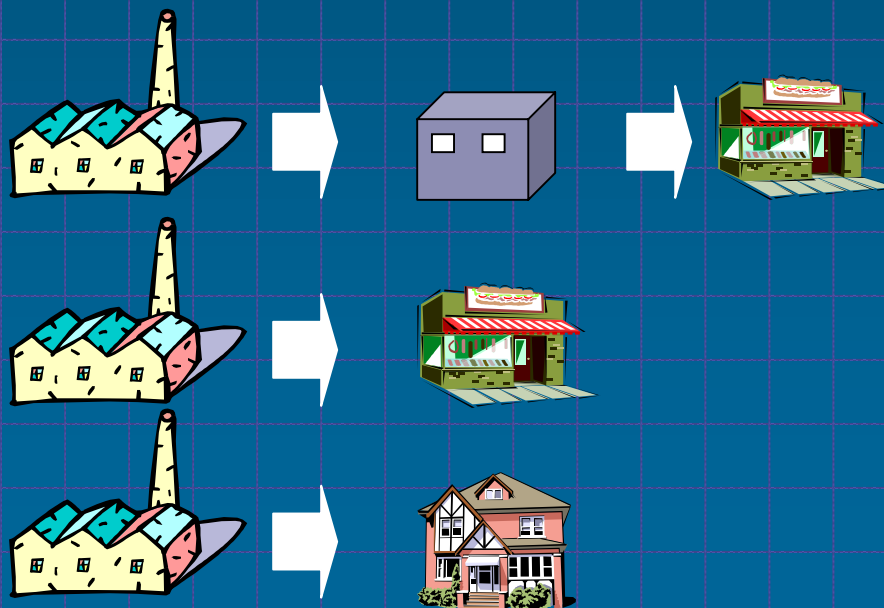
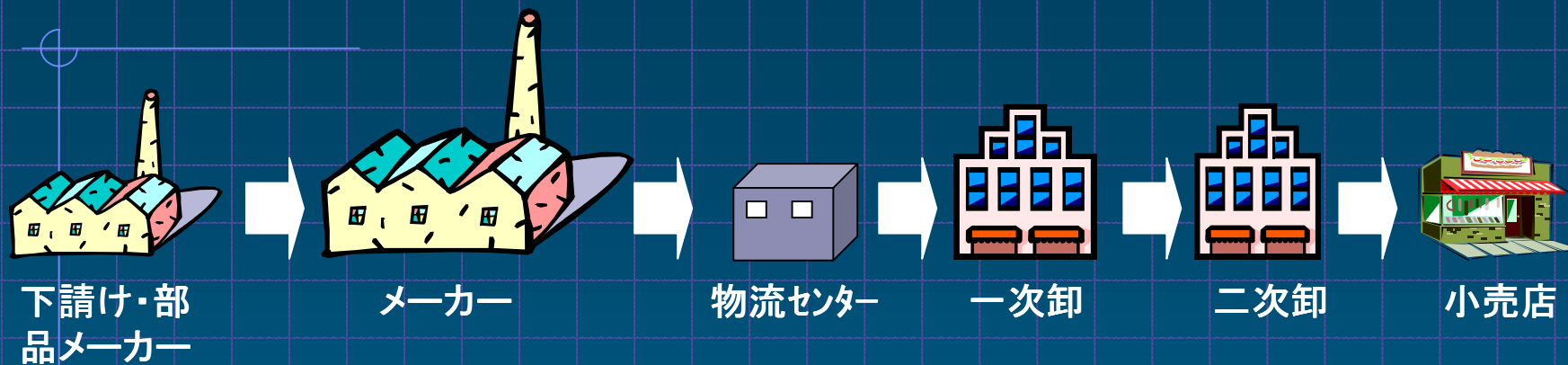




情報化



多段階の取引



標準化

- ◆ パッケージ
- ◆ 輸送・保管の単位
- ◆ 発注データ、物流データ
- ◆ 締切時間
- ◆ 品目の削減

コスト

- ◆ 売上高に占める物流コスト
- ◆ 機能別による物流コスト
- ◆ 最終ユーザーまでの物流コスト

売上高に占める物流コスト

(社)日本ロジスティクスシステム協会1998年度業種別物流コスト実態調査結果より
企業(回答数301社)の売上高に占める物流コスト

全業種合計	5.84%
-------	-------

製造業合計	6.38%
-------	-------

非製造業合計	4.48%
--------	-------

機能別による物流コスト

輸送費	58.71%	(前期63.85%)
保管費	19.72%	(前期17.14%)
荷役費	8.20%	(前期 8.20%)
包装費	7.02%	(前期 5.60%)
その他	6.34%	(前期 5.21%)

ロジスティクスにおける情報化の課題

- ◆ 直接取引きでのデータの追跡は行われているものの、最終取引先までのデータがない。
- ◆ 社内的な物流のデータ交換は行われているものの、社外との物流データ交換が遅れている。
- ◆ 共通したフォーマットでのデータ交換が物流分野で行われていない。
- ◆ 物流に関するデータが少ない。

ロジスティクスITの種類

- ◆ 受発注システム
- ◆ 検品システム
- ◆ 入荷システム
- ◆ 在庫システム
- ◆ ピッキングシステム
- ◆ 流通加工支援システム
- ◆ 出荷システム
- ◆ 輸送管理
- ◆ 通信系
- ◆ ITS
- ◆ GIS
- ◆ 輸出入システム
- ◆ 要員システム
- ◆ 物流コストシステム
- ◆ SCM
- ◆ 管理分析システム
- ◆ EDIシステム
- ◆ Webシステム
- ◆ その他

ロジスティクスITのあり方

- ◆ どこでも、誰でも物流に関する情報をリアルに把握できる状況の出現
- ◆ 調達、生産、販売、流通を全体を通してデータによる把握が完全にできるネットワークと各段階における商品追跡ネットワークの完成
- ◆ ペーパーレスによる事務処理の大幅な削減
- ◆ 物流業務の現場指示、リアルなデータ管理と、簡易なデータ処理ができる環境作り
- ◆ 最適なSCM、最適な物流ネットワークの構築、システムデザインができる企業の出現

- ◆ 現場業務のシステム化
- ◆ 物流営業にかかるシステムツールの浸透
- ◆ 配車計画支援システムの普及
- ◆ 最適化の高度な戦略、組み合わせを行う企業の出
現
- ◆ 生産、販売の最適な用地、立地の選択、経営戦略
に基づいたシステム設計のソフトウェアの出現
- ◆ ネットワークによるデザイン設計のソフトウェアの
出現

ロジスティクスITの可能性

- ◆ 営業現場と物流現場の情報共有
- ◆ 製品ごとのデータキャリア化
- ◆ 物流現場のロボット化（輸送、保管含め）